

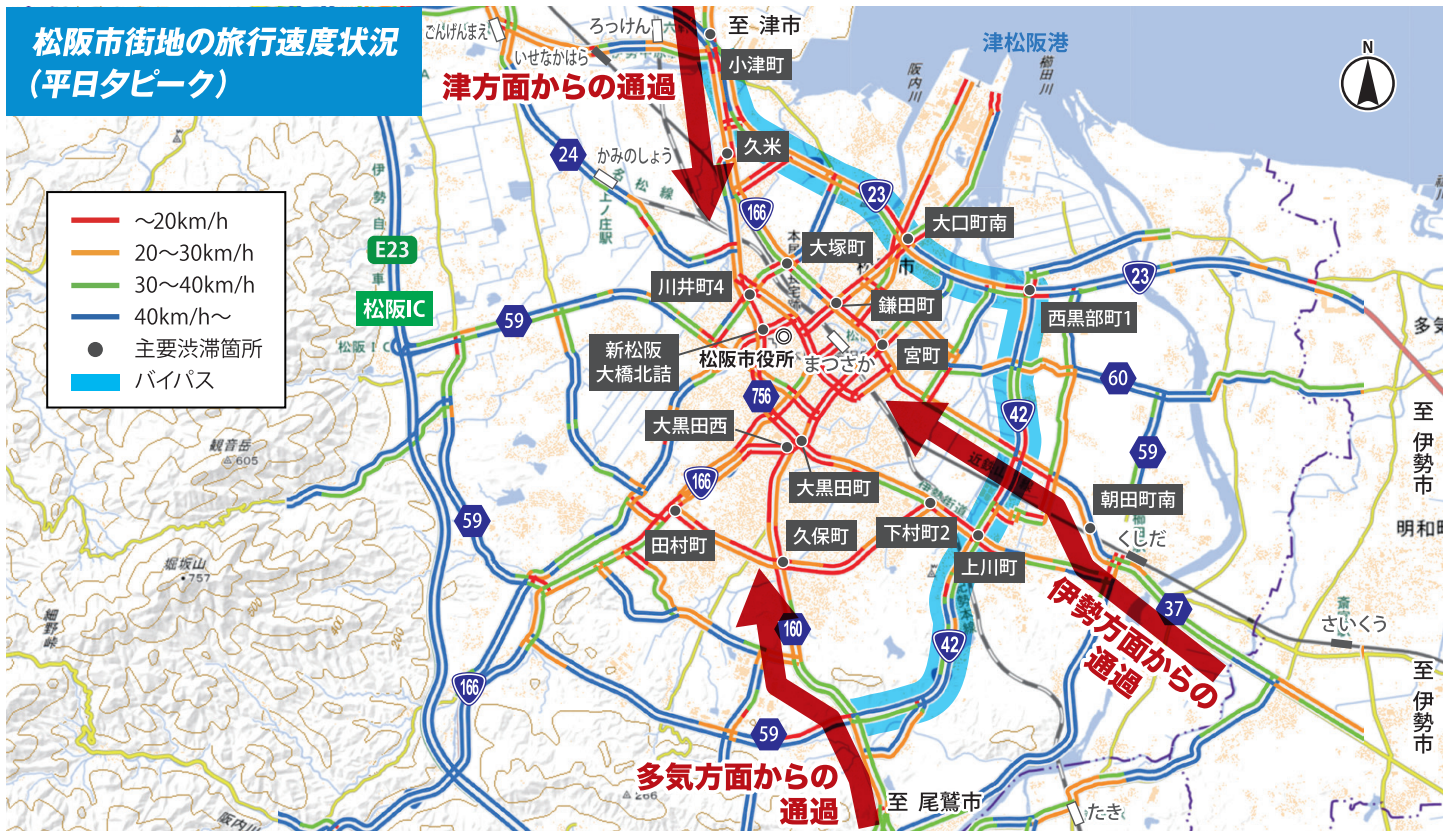
バイパスを賢く使って 快適に移動しませんか

三重県道路交通渋滞対策推進協議会（松阪エリア）では、松阪市街地内の渋滞緩和を目的とした道路整備や交差点改良などのハード対策だけでなく、ラッシュ時の交通分散や行き先に応じた道路の使い分けなどのソフト施策も推進し、地域の交通課題の解消を目指しています。

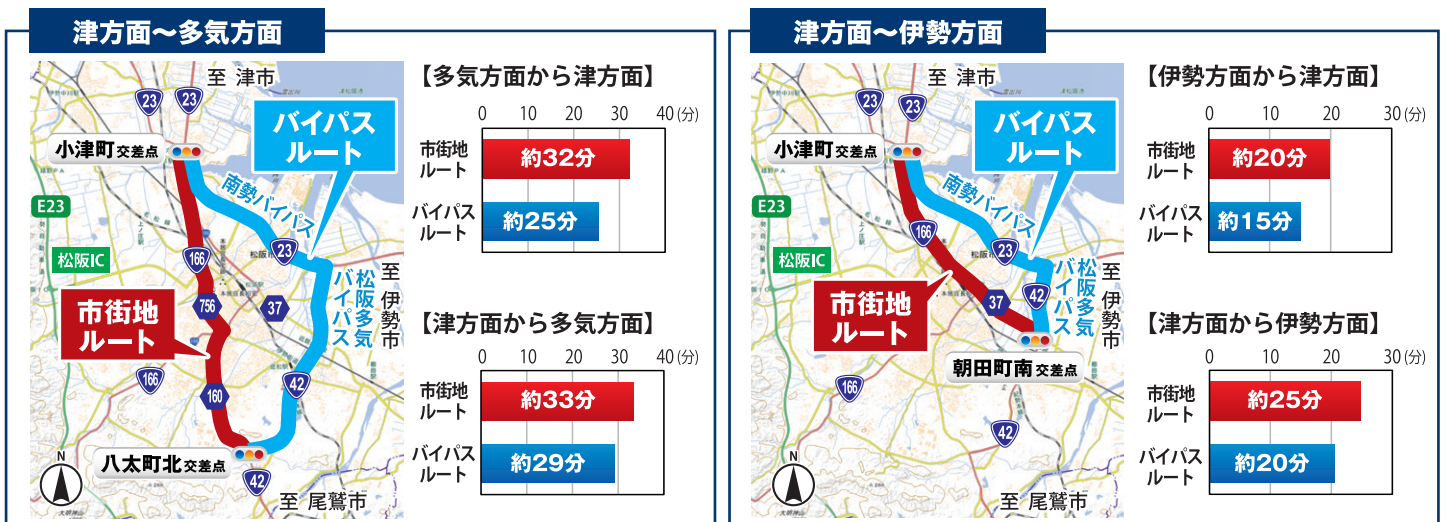
松阪市街地では、中心部付近を発着する交通が多い上に、津方面～伊勢方面、多気方面を移動する通過車両の3～4割が市街地内に流入しているため、平日の通勤ラッシュ時を中心に旅行速度が低下しています。

行き先や目的に応じて市街地内の道路とバイパスを使い分けることで、交通が分散し、**地域全体の渋滞緩和**につながります。

松阪市街地の旅行速度状況 (平日タピーク)



松阪市街地を通過する際の所要時間(平日タピーク)



地図類は国土地理院の地図をベースに作成。旅行速度、所要時間はETC2.0プローブデータ（令和4年9～11月平日17時台、18時台の平均値）に基づく

令和5年 10月3日(火)~31日(火)

八太町北 交差点 → 小津町 交差点

リアルタイムな所要時間情報を提供

バイパスを活用し、松阪市街地全体の交通課題を改善するための取り組みとして、令和5年10月に、国道42号上に仮設情報板を設置し、多気町方面から津市方面に向かう通過車両に対してリアルタイムな所要時間情報を提供する「社会実験」を行います。



松阪市街地を通過する場合は **バイパスが便利!**

早い!

「バイパスルート」は「市街地ルート」よりも距離が長いですが、一見すると遠回りに思えますが、実は、多くの時間帯で**所要時間は最短です。**

出典) ETC2.0プローブデータ (令和4年9~11月)

快適!

「バイパスルート」は「市街地ルート」に比べて信号が少ないため、**快適に移動できます。**

安全!

「バイパスルート」の事故発生確率は、「市街地ルート」の約半分であり、**安全性が高いルートと言えます。**

出典) イタリアダ区間別データ (平成30年~令和3年事故)



社会実験の内容



紀勢国道X (旧Twitter)